

消防ポンプ自動車仕様書

(那須烏山市消防団第6分団第1部)

(CD- I 型)

令和8年度

那須烏山市

那須烏山市消防ポンプ自動車（CD- I ）仕様書

第1条 総則

1 摘要

本仕様書は、那須烏山市（以下「当市」という。）が令和8年度に購入する消防ポンプ自動車（CD- I 型）（以下「車両」という。）を製作するために必要な事項を定めたものとする。

2 規格

- (1) この車両は、消防車専用シャシーにポンプ装置、消防用資機材等を積載し、機動性、耐久性を高めた走行安定性の良い緊急車であり、消防水利より強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動できるものとする。
- (2) 受注者は、この仕様書を十分満足するほか受注者の公表した標準仕様により構築すること。
- (3) 受注者は、契約にあたって本仕様書を了承し、不審な点は当市にただし、十分熟知の上契約するものとする。なお、契約時においての質疑応答事項は本仕様書の追補として使用する。
- (4) 車両の製作は本仕様書・承認図によるもののほか、各種の関係法規に適合するものとし、各部に使用する材料・部品等については、特に指示するもの以外は全て日本工業規格に適合したものを使用すること。
- (5) 製作にあたっては、この仕様書に基づくほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）及び国庫補助対象規格に適合し、日本消防検定協会の受託試験に合格しなければならない。
- (6) 受注者は、製作にあたって、シャシー納入業者と十分打合せを行い相互協調のうえ製作の円滑を図ること。
- (7) 車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両法の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車としての承認が得られるものであること。
- (8) 車両は、製造は品質保持ならびに環境配慮と、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足していること。
- (9) 受注者は、那須烏山市建設工事等請負業者指名停止等措置規程（平成22年那須烏山市規程第6号）第2条の規定に基づく指名停止及び那須烏山市競争入札等参加資格審査規程（平成24年那須烏山市規程第12号）第3条の規定に基づく参加資格の制限又は第10条の規定に基づく参加資格の取消しに該当しない者であること。
- (10) 受注者は、公告日から過去5年において、国若しくは地方公共団体に消防ポンプ自動車又は小型動力ポンプ付積載車の納入実績があること。

- (11) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けるものとする。
- ① 中間検査又は中間検査代用写真撮影（当市が適当と判断する時期）
 - ② 完成検査（納入検収時）
 - ③ その他（当市が必要と認めた時）
- (12) 製作に先立ち受注者は、契約後速やかに当市の担当者（以下「担当者」という。）と詳細な打合せを行い、次の書類関係を各2部提出し、製作の承認を受けるものとする。
- ① 製作工程表
 - ② 製作図（5面図・配管図・電気配線図等）
 - ③ 装備品一覧表
 - ④ その他当市から指示したもの
- (13) 車両の納入時に、次のものを各2部提出すること。
- ① 完成図（5面図）
 - ② ポンプ取扱い説明書
 - ③ ポンプ性能試験結果
 - ④ 受託試験合格証の写し
 - ⑤ 自動車検査証の写し
 - ⑥ 工程写真（シャシー搬入時、組立後、艀装後）
 - ⑦ 安全基準試験実施工程写真
 - ⑧ その他当市から指示したもの
- (14) 受注者は、製作にあたり、本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合や、諸般の理由により本仕様書・承認図書に変更を必要とする場合には、直ちに担当者に連絡のうえ、承認又は指示を受けるものとする。また、その際の疑義は全て当市の解釈に従うものとするとともに、確認の図書を取交し、誤りのないようにすること。
- (15) 設計・製作にあたっては特許その他権利上の問題が生じたときは、製作者においてその責任を負うこと。
- (16) 納入場所は、那須烏山市役所烏山庁舎（那須烏山市中央1-1-1）とする。
- (17) 納入期限は令和10年3月24日（金）とする。ただし、3月定例会において繰越明許の議決を得た場合は、期間を延長することができる。

3 その他

- (1) 納入に至るまでの検査及び故障修理に要した費用の一切は受注者の負担とする。
- (2) 付属品納入の際、個々に検査を行い完全なものであること。
- (3) 納入後24ヶ月以内に生じた設計、施行、資材の不備による故障、破損の一切は受注者の負担とし、速やかに修理すること。但し、保証期間が過ぎても設計不良、

工作不良に起因する不都合が発生した場合は、無償にて部品の取替え及び修理を行うものとする。また、装備品の場合は各メーカーの定めた保証期間内とすること。

(4) 納入後、当市が指定する日に団員に対し取扱い説明をすること。

第2条 仕様

1 シャシー

(1) シャシーは、令和8年度製造のダブルキャブ4ドアCD-I型消防車専用シャシーを使用する他、排出ガス規制適合、自動車NOx・PM法に適合、低排出ガス重量車認定、九都県市低公害車指定車両又は同等の低公害車であること。

(2) 車両総重量は5t未満となるように艤装すること。

(3) トランスミッション：オートマチックトランスミッション（AT）

(4) 駆動：フルタイム又はパートタイム4輪駆動

(5) 乗員人員：6名（キャブ内前部3名、キャブ内後部3名）

(6) 特記事項以外はメーカー純正品とする。

① パワーステアリング

② パワーウィンドウ（前後席両方）

③ エアコン取付け（デュアルエアコン可の場合そちらを優先）

④ サイドバイザー（前後ドア4枚、ステンレス製）

⑤ 泥除け取付け

⑥ フロアマット（全席）

⑦ ABS装置取付け

⑧ 坂道発進補助装置取付け

⑨ 後退警報器取付け

⑩ キャブチルト装置取付け

⑪ オイルパンヒーター取付け

⑫ エアバッグ（運転席・助手席）取付け

⑬ 車両工具取付け

(7) ホイールアーチ部、リヤドア開口部にはアルミプロテクターを設けること。

(8) キャブ内は、オーバーヘッド又はセンターコンソール又はダッシュボードにスイッチ集合盤等を設置する都合上、十分な広さを有すること。

(9) キャブ内後部座席前方には握り棒を設け、その上部天井にはLED灯（ドア連動）を取付け、スイッチはその付近に設けること。

(10) 後部隊員席後方に、ヘルメットホルダーを5個程度取付けること。（別途協議）

(11) ラジオ：AM/FMラジオ

(12) スタッドレスタイヤ（スペア含む。）装着（後輪タイヤはダブル。ノーマルタイ

ヤ不要)

- (13) ヘッドライト取付け。
- (14) フォグランプ取付け。
- (15) バックモニター
- (16) バックアイカメラ
- (17) キャブ外部にAC100V電源コンセントを装備すること。インバーターは600Wとする。(別途協議)
- (18) 前部及び後部にナンバープレートを取付けること。
- (19) 完成寸法
 - ① 全長 5,700mm以下 (別途協議)
 - ② 全高 2,700mm以下 (別途協議)
 - ③ 全幅 1,900mm以下 (別途協議)

2 水ポンプ関係

- (1) ポンプは軽量アルミ製高圧2段バランスタービンポンプ、1段ポリュートポンプ又は同性能を有するA-2級以上とし、放水性能は次のとおりとする。
 - ① 送水圧力0.85MPaにおいて放水量2,000 L/min以上
 - ② 送水圧力1.40MPaにおいて放水量1,400 L/min以上
- (2) ポンプ本体は、腐食に耐えられる構造とし、高性能かつ高い耐久性を有すること。インペラーは高度なバランス保持が可能な構造とし、回転時の負荷軽減及び軽量化を考慮し、アルミ製とすること。

3 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは、ピストン又はロータリーポンプとし、自己潤滑性を持つ材質を使用したオイルレスとすること。また、真空ポンプの耐久性は最大に高め、真空ポンプ内に大量の水が流入しても支障のない構造とすること。
- (2) 真空作成時間の短縮及び高落差の揚水でも確実に揚水可能なよう、高性能無給油ロータリー式又はピストン式真空ポンプを1機装備し、総排気容量は960cc以上とすること。
- (3) 動力消防ポンプに係る技術上の規格に合格しており、定格回転速度により2分以上最高負荷状態で回転させた場合に機能に支障が生じないこと。また、合格証明書の写しを添付すること。
- (4) 真空漏れの原因につながる呼水回路の気水分離装置、エアーチャンバー及びオイルタンク等を一切設けないこと。
- (5) 真空ポンプの動力伝達機構は、電磁クラッチにより動力を伝達する構造とし、左右に自動揚水装置の操作盤を設けること。

4 配管及び各コック

(1) 吸水口

- ① 75mm以上のボールコックを車両両側に各1個を設けること。
- ② 吸管(75mm×10m)をエルボで常時接続する構造とすること。
- ③ 配管の途中にエジェクター装置を設けること。
- ④ ボールコックには排水用のバルブを設けること。
- ⑤ 吸水性能に優れた効率に良い配管形状とすること。

(2) 吐水口(放水口)

- ① 65mmボールコック付き放水口を車両両側に各2口、計4口設けること。
- ② ボールコックには排水用のバルブを設けること。
- ③ 送水性能に優れた効率に良い配管形状とすること。

(3) 中継口

- ① 65mmボールコック付き中継口を車両両側に各1個設けること。
- ② ボールコックには排水用のバルブを設けること。
- ③ 吸水性能に優れた効率に良い配管形状とすること。

5 揚水装置(操法・安全機能付き)

- (1) 真空ポンプ自動揚水装置操作盤は、真空ポンプの[作動ボタン][停止ボタン]等の各ボタンのほか、各ボールコックの開閉状況やポンプ及び真空ポンプの作動状況を表示し、消防団員が解りやすく操作できるものとする。尚、視認性を考慮したパネルスイッチを設けること。

- (2) 非常用の別系統スイッチを揚水装置内又は車両両側に設けること。

- (3) 機器の保護の為、真空ポンプ作動時にエンジン回転がアイドリングでない場合は、以下のどれかのようなになる構造とすること。

- ① 真空ポンプ作動時にエンジン回転がアイドリングでない場合、自動的にエンジン回転をアイドリングに戻した後に作動する構造。
- ② 真空ポンプ作動時にエンジン回転がアイドリングでない場合、真空ポンプを作動させない構造。
- ③ 真空ポンプ作動時に揚水回転より高い場合、真空ポンプを作動させない構造。

6 計器及びスロットル、安全機能

- (1) 圧力計・連成計の計器については、夜間の視認性のため照明付きとすること。

- (2) ステンレス製計器盤を設け、計器盤は斜め45度程度に配置し前方の目視と計器の確認がしやすいようにすること。

- (3) 安全装置(スロットル)

- ① PT0が繋がっていない場合は、以下のどちらかの操作となること。(両方満

たすことは可)

ア 全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作ができないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示もPT0が入っている時のみ変化すること。

イ シャシーメーカー安全基準に準じた操作となること。

② 誤操作による事故防止の為、スロットル操作は以下のどちらかの操作となること。(別途協議)

ア ポンプスロットルは左右とも右回転でスロットルアップする構造。

イ ポンプスロットルは左右ともに車両前進方向でスロットルアップする構造。

(4) 安全装置(揚水装置)

① 真空ポンプの長時間運転を避けるため、30秒で操作盤及びブザーにより警告すること。

② スロットルが高回転の時は、真空ポンプ作動ボタンを押しても作動しないこと。

(5) 走行時の安全確保として、リヤフェンダーは金属又は鋼板同等以上の強度を有するもので作成し、周囲の安全が確保できるように艤装すること。

7 車体の艤装及び構造等

(1) 車体は優美に艤装し、前からポンプ室、ポンプ室上部シャッター式収納庫(車両左右両側)、ポンプ室後部シャッター式収納庫、リヤステップで構成する。

(2) 艤装材料は補助対象規格に定める数値又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用すること。

(3) 車体は堅牢十分な耐久性を有するように製作し、各ステップ床及び屋上部はアルミ縞鋼板材構造とする。

(4) ポンプ室側板は密閉型とし点検及び手入れが容易な構造で、側板と各ステップは水はけ等を考慮した構造とし、車体全体にわたり防水性を考慮して行うこと。

(5) 車体に設けたステップ、握り棒、手すり等、取付け部品には十分な補強を施すこと。

(6) 積載品及び附属品は走行中の振動等により移動が生じないよう安全確実に積載ができ、容易に取外しができる堅固な装置を備えること。

(7) 夜間のポンプ操作等を行いやすいよう、車両両側のポンプ室上部収納庫付近の適当な位置に、作業灯(LED式)を取付けること。また、スイッチは車両両側ポンプ室上部収納庫内の適当な位置若しくはキャブ内オーバーヘッド又はセンターコンソール又ダッシュボードに取付けること。

8 収納庫・ポンプ室後部シャッター式収納庫・リヤステップ及び艤装構成

(1) ポンプ室上部収納庫

- ① 扉はシャッター式とする。
- ② ホース（65mm二重巻き）が収納可能な高さを設けること。
- ③ 床面にポンプ点検用の扉を設けること。
- ④ 樹脂製すのこ板を全面に敷くこと。
- ⑤ 収納庫奥壁（車両中心線部分）は脱着式のパイプを2本設置し、車両反対側への視認性を良くすること。

(2) ポンプ室後部シャッター式収納庫

- ① 扉はシャッター式とする。
- ② 内部は2段の可動式の棚で仕切ること。間口には落下防止用の可動式1段手摺を設けるとともに、樹脂製すのこ板を敷くこと。なお、上段部の棚はホース（65mm二重巻き）が収納できるスペースを確保すること。（別途協議）

(3) リヤステップ

- ① 左右両端は、後方での隊員の動きを妨げない程度の切り欠きを入れること。

(4) 消防団操法資機材取付け

- ① とび口（既存品）は、車両両側に4本収納できるものとする。また、操法を考慮し、低く取り易い位置に斜め取り式のとび口ブラケットを別途増設すること。
- ② 65mm管鎗の取付け装置をリヤステップ後端左右に各1個設けること。

(5) 次の装備品は取外しが容易な専用ブラケット等取付け装置を作成して取付けること。（別途協議）

- ① LED投光器
- ② 吸管
- ③ 吸管スパナ
- ④ ディスクストレーナー
- ⑤ ホース運搬背負器（1基）
- ⑥ とび口
- ⑦ 管鎗
- ⑧ 消火器
- ⑨ 消火栓開閉金具
- ⑩ スタンドパイプ
- ⑪ その他指示する資機材

(6) 屋根部・足掛け・握り棒

- ① 屋根部への乗降に支障の無い範囲で手摺パイプを設けること。
- ② 折畳み式足掛けを、ボデーの適当な位置に設けること。（別途協議）
- ③ ボデー後端左右に、取手を設けること。

- ④ 梯子は車両上部に設置すること。(縦掛けか横掛けかは別途協議)
- (7) キャブ外周部
 - ① 左右共に後席下部までサイドステップを延長し、キャブへの乗降がしやすいようにすること。
 - ② 両側各ドア部には乗降用の握り棒を取付けること。
 - ③ バッテリーは工具なしで引き出せる構造とし、側面にアルミ縞板製化粧カバーを設け、狭い場所でも引出可能なよう工夫にカバーは工夫して取付けること。
また、バッテリー収納時には固定するストッパーを設けること。
 - ④ 燃料タンクにはアルミ縞板製化粧カバーを設けること。
 - ⑤ 消防団マークをフロント中央部分に取付けること。
- (8) 不凍液注入装置
 - ① 不凍液注入装置をボデー側板に設けること。
- (9) ホースカー
 - ① カノー式ホースカーを車体後部に設け、強固に取り付けること。

9 電装関係

- (1) キャブ内部
 - ① 電子サイレンアンプ及びスイッチ集合盤はオーバーヘッド又はセンターコンソール又はダッシュボードに取付けること。
 - ② 電子サイレンアンプには、標準搭載メッセージ・チャンネルのほか、最大5チャンネルまでオプションメッセージを追加すること。(別途協議)
 - ③ 機装関係のヒューズ及びリレーはオーバーヘッド内又はセンターコンソール内又はダッシュボード内及び車両操作時に差支えの無い場所にまとめ、点検が容易にできる構造とし、名称及び負荷を銘板表示すること。
 - ④ 車外のスイッチについては防水キャップ及びステンレス製保護枠を設けること。
- (2) キャブ上部
 - ① 散光式赤色警光灯を取付け、スイッチは電子サイレンアンプと連動させること。
 - ② 標識灯は散光式赤色警光灯内蔵型とし、スイッチはオーバーヘッド又はセンターコンソール又はダッシュボードに設けること。
 - ③ モーターサイレンは散光式赤色警光灯内蔵型とし、スイッチは手押し式で設けること。
- (3) 赤色点滅灯
 - ① フロントグリル上部又はフロントバンパーに、赤色点滅灯を左右各1個取付けること。

- ② 後部側板折曲げ部に赤色点滅灯を左右各 1 個取付けること。
- ③ 点滅ユニットは専用のものを使用し、スイッチは散光式警光灯と連動させること。
- (4) 照明灯は車両中央部及び車両後部にLED式のものを取付け、手動で伸縮・回転・角度調整可能なものとする（散光・集光の内訳は別途協議）。
- (5) 路肩灯（LED式）を左右後輪前部又は後方に設けること。スイッチはシャシースモールランプと連動すること。
- (6) 車幅灯（LED式）を車両後端左右に設けること。スイッチはシャシースモールランプと連動すること。
- (7) 各収納庫内には作業用のLED灯を設け、以下どちらかで点灯・消灯すること。
 - ア 各ドアと連動で点灯・消灯する構造。
 - イ キャブ内オーバーヘッド又はセンターコンソール又はダッシュボードのスイッチにて点灯・消灯する構造。
- (8) ボデー外部の適当な位置にマグネット式コンセントを介した全自動電子バッテリー管理器を取付けること。（別途協議）
- (9) 各電装品関係の配線は、使用電流に充分耐えられる安全性の高い自動車用電線を使用すること。
- (10) ルーフ部の配線は、露出しない方法とし防水処置を施すこと。
- (11) 電気配線は全て色別し、ヒューズボックスには名称と負荷を明示すること。

10 消防用無線機

- (1) 受令機（既存品。無線兼用。ALINCO DR-XF5）をキャブ内の適切な位置に取付けること。
- (2) 受令機用アンテナ及び簡易登録局用アンテナをキャブ上部に取付けること。
- (3) 消防救急デジタル無線機能及びデジタル簡易無線機能用の 2 種の外部スピーカーを車両の適当な位置に左右各 1 個（合計 4 個）支障なく作動するように設けること。また、防塵・防水を十分に図ること。又、キャブ内の適当な位置に受令機用マイク及び 2 種の外部スピーカーの切替えスイッチを設けること。尚、作業に当たっては無線業者と十分打合せを行い相互協調のうえ作業の円滑を図ること。（別途協議）
- (4) シャシー電圧が24Vの場合は、DC/DCコンバーターにて12Vに対応させ、消防救急デジタル無線機能及びデジタル簡易無線機能が支障なく作動するようにすること。

11 塗装

- (1) 車体は完全な防錆加工を施し、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理

を行い、赤色ウレタン塗料により3回以上の塗装を行う。その後、塗装面を滑らかにし、艶出し加工を施すこと。

- (2) アルミ縞板使用部は、無塗装とする。
- (3) ボデー内部及びポンプ配管は、ライトグリーン色錆止め塗装とする。
- (4) 車体下廻り等は錆防止のプライマー黒色塗装とすること。
- (5) 各ボックス内の塗装色は別途協議とする。
- (6) 手摺り・保護枠・計器類の金具は、ステンレス製又は良質のクロームメッキ処理とする。

12 記入文字

- (1) 車両両側に丸ゴシック体(10cm程度)で「那須烏山市消防団 第6分団第1部」と金色（黒縁取り）貼付けで所属名を記入する。
- (2) 標識灯の前面に丸ゴシック体で「6-1」と黒色文字で所属名を記入する。
- (3) 屋根文字表示は白色・丸ゴシック体・貼り文字で屋根におさまる寸法とし、「那烏」「6-1」と2段書きする。

第3条 その他

- 1 自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料については、当市の負担とする。
- 2 契約する上で、当仕様書の取付け品、付属品にあっては、十分現物を確認して後から変更のないようにすること。
- 3 この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて当市・受注者とが協議して定める。
- 4 この仕様書内容に改善改良点があった場合、必要に応じて当市・受注者とが協議し内容を変更することができる。

備えなければならない取付け品及び取付け装置

品名		個数		型式
1	ポンプ圧力計	2	個	バックライト付き
2	ポンプ連成計	2	個	バックライト付き
3	エンジン回転計	1	-	シャシー標準
4	エンジン油温計	1	-	シャシー標準
5	エンジン稼働時間計	1		シャシー標準
6	バックアイカメラ	1	式	画角：1個120°程度
7	バックモニター	1	式	室内バックミラー兼モニター
8	後退警報器	1	-	シャシー標準
9	キャブチルト装置	1	-	
10	オイルパンヒータ	1	-	
11	不凍液装置	1	式	
12	赤色警光灯	1	台	電子サイレン・標識灯含む
13	電子サイレンアンプ	1	式	音声合成付き オプションメッセージ追加
14	赤色点滅灯（前）	2	個	LED式
15	赤色点滅灯（後）	2	個	LED式
16	ポンプ操作作業灯（左右）	1	式	LED式 車両両側ポンプ室上部収納庫付近
17	照明灯（サーチライト）	2	個	LED式
18	収納庫内作業灯	1	式	LED式
19	キャブ室内灯	1	式	LED式
20	路肩灯	1	式	LED式

21	車幅灯	1	式	LED式
22	消防団章	1	式	丸型台座止め
23	受令機	1	式	既存品 ALINCO DR-XF5
24	外部スピーカー	4	個	消防救急デジタル無線用（左右各1個） デジタル簡易無線機能用（左右各1個）
25	簡易登録局用アンテナ	1	式	新規品
26	バッテリーメインスイッチ	1	式	
27	全自動電子バッテリー管理器	1	式	マグネット式コンセント コード長は別途協議
28	AC100V電源（キャブ内）	1	式	インバーター600W相当
29	AC100V電源（キャブ外）	1	式	インバーター600W相当
30	2口USBポート	1	式	キャブ内前部隊員席及び後部隊員席
31	ポンプ室上部収納庫	1	組	左右シャッター扉式
32	ポンプ室後部収納庫	1	組	シャッター扉式
33	足掛け金具	1	式	折畳式
34	吸口エルボ	2	個	
35	車体への記入文字	1	式	別途指示
36	防水・防錆塗装	1	式	

車載品及び附属品

品名		個数		型式
1	65mmホース	6	本	既存品
2	50mmカラーホース	4	本	既存品
3	差込異径媒介金具	2	個	メス65mm×オス50mm
4	分岐器	1	個	双口型 メス65mm×オス65mm
5	ホース運搬背負機	2	基	既存品
6	カノー式ホースカー	1	台	ノーパンクタイヤ
7	65mm用管そう	2	本	既存品
8	65mm用無反動管そう	1	本	既存品
9	50mm用無反動管そう	2	本	噴霧ノズル取付け
10	給水栓付メスキャップ	1	個	(株)岩崎製作所 BENRI CAP
11	スタンドパイプ	1	個	既存品
12	消火栓開閉金具	1	本	既存品 地下式用消火栓用十字型キーハンドル
13	消火栓開閉金具	1	本	既存品 地下式用消火栓用T字型キーハンドル
14	消火栓開閉金具	1	本	地上式消火栓用
15	マンホールキー	2	本	既存品 T字式
16	マンホールキー	2	本	既存品 フック式
17	ディスクストレーナー	1	個	日機 ディスクストレーナー
18	吸管	2	本	φ75×10m
19	吸口ストレーナー	2	個	ポリ製（コックに含む）
20	吸管ちりよけ籠	2	個	

21	吸管枕木	1	個	ゴム製
22	吸管ロープ	2	本	(φ10×15m)
23	吸管スパナ	2	個	φ75用
24	吸管用消火栓金具	1	個	75Aネジメス×65A町メス AC製
25	中継口用媒介金具	2	個	65Aネジメス×65A町メス AC製
26	吐水口用媒介金具	4	個	65Aネジメス×町オス AC製
27	とび口	4	本	既存品
28	金てこ（バール）	1	本	既存品
29	剣先スコップ	1	本	既存品
30	LED投光器	1	台	LED式、予備バッテリー及び充電器付属
31	車輪止め	2	個	
32	ホースブリッジ	2	個	
33	消火器	1	個	ABC10型（自動車用）
34	ポンプ工具	1	式	冷却水スパナ
35	車両用工具	1	式	
36	梯子	1	台	アルミ2連（3.6m）